

令和 2 年 6 月 10 日
国土交通政策研究所

オンライン WEB 研究発表会を 6 月 24 日に開催します

～「エイジング・イン・プレイス」、「MaaS の動向・効果」など 7 本の調査の発表～

今回は、「エイジング・イン・プレイスに資する生活支援サービス」、「低未利用ストックの利活用促進に向けた地域マネジメント手法」、「インフラ・公共サービスの効率的な地域管理のあり方」、「モビリティクラウドを活用したシームレスな移動サービス (MaaS) の動向・効果等」、「高齢者の移動ニーズに対応した旅客運送サービス」、「物流分野における高度人材の育成・確保」、「ビジネスジェット利用による地域経済波及効果」の調査研究について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防する「新しい生活様式」の実践として、オンラインでの発表 (全 7 本) を予定しています。

※国土交通政策研究所では、日頃の調査研究活動の成果を広く皆様に報告し、業務の参考としていただくとともに、調査研究の改善充実を図るため、毎年、研究発表会を開催しております。

1. 日 時 令和 2 年 6 月 24 日 (水) 10 時 40 分～14 時 40 分
2. プログラム 次頁参照
3. 申込み方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEB 配信で行います。参加を希望される場合は、6 月 22 日 (月) までに、以下のとおりメールにてご連絡ください。
期日までにご連絡いただいた方に、WEB 配信 URL をメールにて送信いたします。
※参加費は無料。先着順 (60 名) となりますのでご了承ください。
件 名 : 【参加希望】研究発表会
本 文 : ①氏名 (ふりがな)、②所属、③連絡先 (電話番号、メールアドレス必須)、④参加予定時間帯 (午前、午後、終日)
送付先 : hqt-prilit★mlit.go.jp
※送信の際には「★」記号を「@」に置き換えてください。

【問い合わせ先】

国土交通政策研究所 (新宿区四谷 1-6-1 四谷タワー15 階)

Email hqt-prilit@mlit.go.jp

電 話 03-5369-6002 (代表)、03-5369-6005 (直通)

F A X 03-5369-6009

総務課長 小原 (内線 103)、情報管理係 阿部 (内線 106)

国土交通政策研究所 研究発表会

■日 時 : 令和2年6月24日(水) 10時40分～14時40分

■プログラム : 時間、タイトル、発表者は以下のとおり。なお、発表研究概要は別添をご参照ください。

<午前の部>

10:40 ～ 10:50 開会の辞

所長 佐々木 良

10:50 ～ 11:10 エイジング・イン・プレイスに資する生活支援サービスに関する調査研究

～国内外の調査から～

研究官 石井 義之

11:10 ～ 11:30 低未利用ストックの利活用促進に向けた地域マネジメント手法に関する調査研究

研究官 伊藤 夏樹

11:30 ～ 11:50 インフラ・公共サービスの効率的な地域管理のあり方

～ドイツ・シュタットベルケの事例調査を中心に

客員研究官 小谷 将之

－ 休 憩 －

<午後の部>

13:10 ～ 13:30 モビリティクラウドを活用したシームレスな移動サービス (MaaS) の

動向・効果等に関する調査研究

研究官 若林 玄

13:30 ～ 13:50 高齢者の移動ニーズに対応した旅客運送サービスに関する調査研究

主任研究官 竹内 龍介

13:50 ～ 14:10 物流分野における高度人材の育成・確保に関する調査研究

研究官 渡邊 幹

14:10 ～ 14:30 ビジネスジェット利用による地域経済波及効果に関する調査研究 (中間報告)

研究官 金原 章夫

14:30 ～ 14:40 閉会の辞

副所長 徳永 政道

※発表者・タイトルは変更することがあります。また、進行に応じ、時間が多少前後することがあります。

国土交通政策研究所 研究発表会で発表する調査研究の概要は以下のとおりです。

タイトル	概要
<p>エイジング・イン・プレイスに資する生活支援サービスに関する調査研究 ～国内外の調査から～</p> <p><研究官 石井 義之></p>	<p>高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることは多くの人の願いであり、その実現には暮らしを支える住宅と生活支援サービスが重要である。本研究では、住民・事業者・行政が連携した、持続可能な生活支援サービスの構築を目的として、住民のニーズ・意識を把握するとともに、日本・米国におけるサービス実践の取組について調査研究を行った。米国の住宅都市開発省とも共同研究を実施しているので、その概要と併せて報告する。</p>
<p>低未利用ストックの利活用促進に向けた地域マネジメント手法に関する調査研究</p> <p><研究官 伊藤 夏樹></p>	<p>空き家や空き地の増加といった「都市のスポンジ化」の傾向が見られる地域における低未利用ストックの利活用や更新を促進するため、地域によるマネジメントのあり方を検討した。今回の発表では、自治体や関連団体へのアンケート、住民ワークショップ等を通じて得られた内容について報告する。</p>
<p>インフラ・公共サービスの効率的な地域管理のあり方～ドイツ・シュタットベルケの事例調査を中心に</p> <p><客員研究官 小谷 将之></p>	<p>より効率的な地域インフラや公共サービスの運営・管理が求められている中、2カ年にわたってドイツの自治体出資企業・シュタットベルケによる複数の公益事業の包括管理のあり方に着目した調査研究を行った。エネルギー市場で大きなシェアを獲得しながら公共サービスの提供を可能にする制度的背景やガバナンスのあり方に着目し、ドイツ現地調査によるシュタットベルケの事例を紹介するとともに、わが国へ適用に向けて整理した論点を報告する。</p>
<p>モビリティクラウドを活用したシームレスな移動サービス（MaaS）の動向・効果等に関する調査研究</p> <p><研究官 若林 玄></p>	<p>MaaS (Mobility as a Service) に関する調査研究として令和元年度に実施した文献調査及びヒアリング調査の結果を基に、アジア地域(台湾、シンガポール)及び米国(運輸省、サンフランシスコ、シアトル、コンバス、トンプキンス郡)における取組、並びに国内の自治体や民間企業等における取組の動向・効果等について報告する。</p>
<p>高齢者の移動ニーズに対応した旅客運送サービスに関する調査研究</p> <p><主任研究官 竹内 龍介></p>	<p>自家用有償旅客運送及び許可又は登録を要しない運送について、昨年度の調査結果における課題をより具体的に把握するため、運送サービス以外の別事業活動の実態、公共交通との役割分担、運送サービスの具体的な事業内容、事業継続の課題への対応策、また、短期及び中長期での主観的な事業継続の可能性を把握することを目的に、アンケート調査及びヒアリング調査を実施し、各類型別の実態、課題並びに事業継続のための検討すべき事項について把握した。</p>
<p>物流分野における高度人材の育成・確保に関する調査研究</p> <p><研究官 渡邊 幹></p>	<p>本調査研究では、物流分野における高度人材の育成・確保に向けて、我が国の現状や海外における動向、具体事例等について調査した上で、課題及び対応の方向性について検討を行うものである。今回は中間報告として、2019年度に実施した国内及び海外(米国及び中国)での文献調査および現地ヒアリング調査の結果をもとに、国内外における物流の専門教育の実施状況等について調査、考察を行った結果の概要を発表する。</p>
<p>ビジネスジェット利用による地域経済波及効果に関する調査研究（中間報告）</p> <p><研究官 金原 章夫 ></p>	<p>ビジネスジェット利用による産業・ビジネス(商談)創出等を含む経済波及効果の計量を試みることにより、地域への影響・経済波及効果を明らかにする目的で調査研究を進めている。今回は研究の中間報告として、ビジネスジェットの利用状況や利用環境及びビジネスジェットの地域振興・経済波及効果に関して、国内・海外の事業者等に対するヒアリング調査や海外の先行研究例の調査から得られた結果を報告する。</p>